

第365号 2014年10月31日
弘前大学総務部広報・国際課

学術講演会・研究発表会・公開講座

弘前大学ボランティアセンター事業～市民ボランティア講座&ワークショップ～
第2回市民ボランティア講座開催のお知らせ

1. 日 時： 2014年11月7日（金）18:30～20:00
（開場18:00）
2. 場 所： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大
8階 八甲田ホール
3. 対 象： なし（どなたでもご参加いただけます。）
※事前申込不要、参加無料です。
4. プログラム： 『「チーム・オール弘前」
どうする？これからの支援・交流活動について』

司会： 日比野 愛子 氏
（弘前大学人文学部講師）

問い合わせ先： 弘前大学ボランティアセンター
（平日10:00～15:00、土日祝日休み）
TEL：0172-39-3268
E-mail：huvcc@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL：http://huvcc.net/



第6回弘前大学COI特別講演会開催のお知らせ

平成25年11月に採択された革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）「脳科学研究とビッグデータ解析の融合による画期的な疾患予兆発見の仕組み構築と予防法の開発」の拠点研究を推進するにあたり、更なる知見を深めること等を目的として、下記のとおり第6回弘前大学COI特別講演会を開催します。

本講演会では、川崎市産業振興財団COI拠点・プロジェクトリーダー・木村廣道 氏（東京大学大学院薬学系研究科・特任教授）をお招きして御講演いただきます。

事前申込は不要です。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年11月11日（火）13:30～15:00
（受付は13:00から開始します）
2. 会 場： 弘前大学大学院医学研究科 基礎大講堂
3. 対 象： 一般、弘前大学教職員、学生等
※事前申込は不要です。

- 

第6回 弘前大学COI特別講演会

開催日 2014年11月11日(火) 13:30~15:00 (受付開始12時30分)

会場 弘前大学大学院医学研究科 基盤施設 (青森県弘前市赤松町1番地)

地域発オープンイノベーションの基盤づくりに向けて



**Center of Open Innovation Network for
Smart Health (COINS) プロジェクト統括**
(東京工業大学 大学院薬学系研究科 特任教授)

木村 廣道 氏

本講演会は、大学と産業界が連携して進める「健康づくり」をテーマとし、スタンフォード大学大学院にジェス・スチーベンソン（Jesse A. Stevenson）氏が招かれ、その題目は「企業価値創造 - 特許、プラットフォーム・モデル、オープンイノベーションの役割を探る」。日本では、経済産業省の先進医療推進センター長を務め、現在は米国スタンフォード大学で「Open Innovation for Smart Health」と題し、スマートヘルスの構築を目指している。また、健康産業界最大のコンファレンス「Healthcare Innovation Summit」にて「オープンイノベーション」に関するセッションを開催。また、経済産業省主催、日本スウェッチャー・インベスティメント・サミットにおいて「オープンイノベーション」の意義や、スタンフォード大学で「Open Innovation for Smart Health」を推進する意義や、日本におけるオープンイノベーションの現状について、報告者自身の経験に基づいて具体的な事例とともに報告を行う予定。

どうぞお気軽に参加下さい。一般の方・学生の参加も大歓迎です。

[Information]

弘前大学COI研究推進課 横峯史提子

担当教員：村下
U R A : 上田 崇雄・金澤・野田
総務部長：富士・高峰
TEL : 0172-39-5538
E-mail: info@coi.cc.hirosaki-u.ac.jp

[Information]
弘前大学COI研究推進機構 戦略支援室
担当教員：村下
URA：工藤、菅原、金澤、野呂
担当事務：福士、高橋
TEL：0172-39-5538 Mail：coi_info@cc.hiroaki-u.ac.jp

1. 日 時： 2014年11月11日（火）16：00～17：00
2. 場 所： 弘前大学保健学科新棟 3階 18教室
3. 対 象： 学部1、2、3、4年生、大学院生、教職員の方々
※事前申込は不要です。
4. 講 師： Boris Rakvin 氏
(Ruder Bošković Institute, Zagreb, Croatia)

学 術 講 演 会

**「水素結合した固体中の
無秩序性に関する EPR 研究」**

Boris Rakvin 先生
Ruder Bošković Institute, Zagreb, Croatia

日 時: 平成 26 年 11 月 11 日 (火)
16:00 ~ 17:00

場 所: 保健科学 新棟 3 階 18 教室

要 旨: 自然界に見られるガラス形成型二価類と
してのテトラホースは、凍結保護などの珍しい生体
防護の性質を示すことが知られている。本講演では、
典型的な水素結合したガラス状テトラホースの無秩
序性の態に焦点ををす。

この講演会は、1、2、3、4 年生、学生、教職員の方々に歓迎します。

問い合わせ: 保健科学研究科 501 (内線: 5013)

[illegible]

4. プログラム： 開会挨拶 弘前大学研究担当理事 柏倉 幾郎

講 演 トムソン・ロイター（株） 三輪 俊矢佳 氏

質疑応答

5. 内 容：

以下のテーマに沿って、本学で導入しているデータベース「Web of Science」および「Journal Citation Reports」をより効果的に使い、研究活動・論文執筆・科研費申請に生かす方法をデモンストレーションします。

－ 3 つのテーマ－

- ・自分の研究の独創性を検証する。（その研究は本当に誰もやっていないのか？）
- ・アクセプトされる論文、インパクトのある論文を書くには・・・
- ・コンプライアンスに沿った論文執筆（研究不正をしないために）

6. 備 考：

デモンストレーション形式のセミナーのため、パソコンを使用した実習の時間は設けておりませんが、PCの持ち込みは可能ですので、時間内に自由に操作を体験していただくこともできます。（無線LAN利用には大学のメールアドレス***@cc.hirosaki-u.ac.jpまたは***@stu.hirosaki-u.ac.jpが必要です。）

7. 参考URL：<http://www.ul.hirosaki-u.ac.jp/local/db/2014/WOSseminar.pdf>

※柏倉研究担当理事からの推薦文が掲載されていますので、是非ご覧ください。

問い合わせ先： 弘前大学研究推進部学術情報課（附属図書館）
資料管理グループ雑誌情報担当
TEL：0172-39-3157
E-mail：jm3157@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学防災社会研究会第26回公開研究会開催のお知らせ

1. 日 時： 2014年11月11日（火）18：00～20：00

2. 場 所： 弘前大学60周年記念会館コラボ弘大 8階
八甲田ホール

3. 対 象： 防災研究や震災対応に興味のある方はどなたでも
参加・聴講できます。

4. プログラム：

- 「大規模自然災害時における資料保全
ー阪神・淡路大震災からの資料保全ネットワークの活動」

NPO歴史資料ネットワーク事務局長 川内 淳史 氏

- 「東日本大震災からの史料保全と災害研究」

東北大学災害科学国際研究所助教 蝦名 裕一 氏



5. 参 考 :

URL : <https://www.facebook.com/shinsai.ken9>

URL : <http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/~kataoka/renrakukai/index.html>

※2014年4月1日付けで、名称を「震災研究交流会」から上記のものに変更しました。

※当日、講演の後に、防災に関する情報・意見交換を行います。情報をお持ちの方はこの機会にご紹介ください。

※連絡会終了後、有志の懇親会を予定しています。

問い合わせ先: 弘前大学大学院理工学研究科 片岡 俊一

TEL : 0172-39-3616

E-mail : kataoka@cc.hirosaki-u.ac.jp

学術講演会開催のお知らせ

1. 日 時 : 2014年11月12日(水) 13:00~14:00

2. 場 所 : 弘前大学理工学部1号館 3階 6番講義室

3. 対 象 : 電子情報工学科3年生および大学院生、その他、興味がある方ならどなたでも
※事前申込は不要です。

4. 講 師 : 園田 道夫 先生

(セキュリティキャンプ実行委員&講師。サイバー大学教授、独立行政法人情報処理推進機構非常勤研究員、SECCON実行委員、白浜サイバー犯罪シンポジウム情報危機管理コンテスト審査委員等。情報セキュリティ関連の教育、啓発に従事。研究テーマは自動解析。著書に「Winnyはなぜ破られたのか」共著に「アクセス探偵IHARA」監訳・翻訳に「ハニーネット・プロジェクト」「ファジング」等多数。)

5. 題 目 : 「CTF、バグハント、コンテストの現在。
～セキュリティ・キャンプの紹介も兼ねて～」

問い合わせ先: 弘前大学大学院理工学研究科 長瀬 智行

TEL : 0172-39-3632

E-mail : nagase@eit.hirosaki-u.ac.jp

**平成26年度 弘前大学大学院保健学研究科 博士前期課程・後期課程
大学院進学ガイダンスのお知らせ**

保健学研究科では、平成27年1月24日(土)に博士前期課程及び博士後期課程の選抜試験を実施しますが、これに先立ち、大学院進学に関心をお持ちの方々を対象に、下記の日程で大学院進学ガイダンスを企画しましたので、ご案内いたします。

1. 日 時 : 2014年11月20日(木) 17:40~18:10(予定)

2. 会 場 : 【弘前会場】弘前大学大学院保健学研究科3階 第17講義室

【八戸会場】弘前大学八戸サテライト(八戸商工会館1階)

※双方向遠隔授業システムを使用した、両会場での同時開催となります。

3. 対 象： 弘前大学大学院保健学研究科への進学に関心をお持ちの方々

4. 内 容： (1) 大学院概要説明
(2) 募集要項説明
(3) 質疑応答及び個別相談

5. 参加申込みについて：

参加ご希望の方は、お名前、連絡先（電話番号）、進学をお考えの課程（博士前期課程・博士後期課程）、参加希望会場をご記入のうえ、FAXまたはE-mailにて、11月12日（水）までに下記問い合わせ先にお申し込みください。

申込み・問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科学務グループ

TEL：0172-39-5913

FAX：0172-39-5912

E-mail：jm5911@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学附属図書館リニューアルオープン記念講演会開催のお知らせ

弘前大学附属図書館では、リニューアルオープンを記念し下記のとおり講演会を開催しますので、お知らせします。多数のご来場をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年12月2日（火）16：00～17：30

2. 会 場： 弘前大学創立50周年記念会館 みちのくホール

3. 対 象： 弘前大学学生・教職員、一般の方等どなたでも
※事前申込不要、入場無料です。

4. 講 師： 平田 オリザ 氏（劇作家・演出家）

5. 演 題： 「演劇から考えるコミュニケーション」
(ワークショップも含めた講演となっております)

問い合わせ先： 弘前大学研究推進部学術情報課企画管理グループ

TEL：0172-39-3155

E-mail：jm3155@cc.hirosaki-u.ac.jp

保健学科・保健学研究科FD講演会「コミュニケーションの視点から授業を考える」開催のお知らせ

このたび、保健学科FD委員会・保健学研究科FD委員会の主催で、講演会を開催します。講師はパフォーマンス研究で有名な大島武先生です（大島渚監督のご長男であることも有名です）。大島先生は2003年に、優れた大学教員に贈られるベスト・エド्यूケーター・オブ・ザ・イヤー最優秀賞（全国大学実務教育協会）を受賞されました。今回は、コミュニケーションの視点から授業について、わかりやすく説明していただきます。皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年12月3日（水）17：40～19：00

2. 場 所： 弘前大学大学院保健学研究科 総合研究棟
6階 第24講義室

3. 対 象 : 本学教員および学生・大学院生
※事前申込不要、入場無料です。

4. 講 師 : 東京工芸大学芸術学部 大島 武 教授

問い合わせ先 : 弘前大学大学院保健学研究科 則包 和也
TEL : 0 1 7 2 - 3 9 - 5 9 8 4



知財塾開催のお知らせ (2)

この度、弘前大学知的財産本部では、国内および外資系大手製薬企業においてアライアンス業務責任者を歴任され、現在は、有限会社医薬ライセンス研究所代表取締役である、岩並 澄夫 氏を講師にお招きし、「成功するための創薬関連アライアンス実践講座 (仮)」と題してご講演いただきます。

医薬品・バイオ技術のライセンス、研究提携等に関する知識、理解を深めたい方など、興味がある方はどなたでも是非奮ってご参加ください。皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時 : 2014年12月5日 (金) 18:00~20:00

2. 場 所 : 弘前大学大学院医学研究科基礎棟 1階 大会議室
(弘前市在府町5番地)

3. 対 象 : どなたでも参加可能
※事前申込は不要です。

4. テーマ : 「成功するための創薬関連アライアンス実践講座 (仮)」

5. 講 師 : 有限会社医薬ライセンス研究所 代表取締役 岩並 澄夫 氏

6. 参加料 : 無 料

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、11月28日 (水) までに、下記連絡先までお申し込みください。

申込み・問い合わせ先 : 弘前大学知的財産本部 (担当: 中山・石沢)
TEL : 0 1 7 2 - 3 9 - 3 1 7 8
FAX : 0 1 7 2 - 3 6 - 2 1 0 5
E-mail : chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp

「シンポジウム 青森県の裁判員裁判—これまでの5年を振り返る」 開催のお知らせ (再掲)

1. 日 時 : 2014年11月1日 (土) 14:00~17:30

2. 場 所 : 弘前大学人文学部棟 4階 多目的ホール

3. 対 象 : 本学教職員、学生、一般の方等どなたでも (参加無料)
※事前申込は不要です。

4. 内 容：

第1部 研究・教育の視点から

飯 考行（専修大学）、平野 潔（弘前大学）、
弘前大学人文学部学生

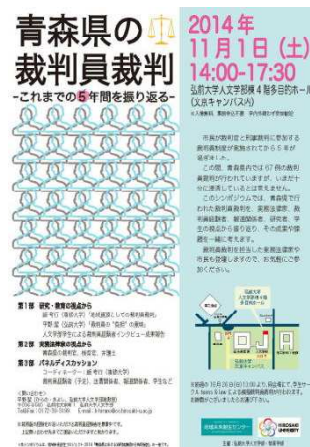
第2部 実務法律家の視点から

青森県の裁判官、検察官、弁護士

第3部 パネルディスカッション

コーディネーター：飯 考行（専修大学）

パネリスト：裁判員経験者（予定）、法曹関係者、報道関係者、学生など



5. 主 催： 弘前大学人文学部・教育学部

※本シンポジウムは、地域未来創生プロジェクト2014「青森県における法的諸課題の多角的検討」の一環です。

問い合わせ先： 弘前大学人文学部 平野 潔
TEL：0172-39-3199
E-mail：k-hirano@cc.hirosaki-u.ac.jp

【文化の日に、弘前大学へ行こう！】

弘前大学人文学部国際公開講座2014「日本を知り、世界を知る」
アジアの文化・歴史《再発見》—津軽・日本そして中国— 開催のお知らせ（再掲）

津軽やアジアの文化・歴史を再発見してみませんか。
また、人文学の研究の「今」をわかりやすくお伝えします。

1. 日 時： 2014年11月3日（月・祝）
10:00～17:00（開場 9:30）
2. 場 所： 弘前大学創立50周年記念会館 2階 岩木ホール
3. 対 象： 関心のある方はどなたでも（入退場自由）
※事前申込は不要です。
4. 主 催： 弘前大学地域未来創生センター・弘前大学人文学部
共 催： 弘前市教育委員会（弘前市立博物館）・外ヶ浜町
5. 参加料： 無 料
6. 内 容：

9:30 開 場

10:00 開会・主催者挨拶

弘前大学地域未来創生センター 学部情報室 平野 潔



10 : 10 ~ 11 : 10

講演 1

「津軽の仏教文化—弘前市立博物館展示
『久祥院殿写経』（隣松寺蔵）をめぐって—」

弘前大学人文学部 教授 渡辺 麻里子

11 : 20 ~ 12 : 20

講演 2

「津軽の気づきにくい方言—ことばの受容と変容—」

弘前大学人文学部 講師 川瀬 卓

13 : 00 ~ 14 : 00

講演 3

「雲南—中国南辺から見る世界—」

弘前大学人文学部 教授 荷見 守義

14 : 10 ~ 15 : 10

講演 4

「中国の詩跡巡礼
—名詩誕生の聖地、寒山寺（楓橋）・華清宮・桃花潭など—」

弘前大学人文学部 教授 植木 久行

15 : 20 ~ 16 : 40

特別講演

「過去・現在を想像する源義経伝説
—青森・北海道における生存説の展開と意味—」

上智大学国際教養学部 准教授 マシュー・トンプソン

16 : 40 ~ 16 : 50

閉会・主催者挨拶 弘前大学人文学部長 今井 正浩

17 : 00 終了

問い合わせ先： 弘前大学地域未来創生センター（担当教員 渡辺）
（弘前市文京町1）
TEL : 0172-39-3198
E-mail : irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp
URL : <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/>

分析化学と化学分析の青森フォーラム2014開催のお知らせ（再掲）

県内の分析化学・化学分析に従事する研究者・技術者の交流を深め、情報交換を行うことを目的

としています。ご関心をお持ちの方は是非ご参加ください。

1. 日 時： 2014年11月7日（金）14：20～
2. 会 場： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 8階
八甲田ホール
3. 対 象： 化学分析に興味をお持ちの方
※事前申込は不要です。
4. プログラム：

14：20 「キレート樹脂を用いた環境試料中の
放射性ストロンチウム分析法」
(弘前大学被ばく医療総合研究所) 田副 博文

15：05 「環境化学における分析技術
～環境分析の現場から～」
(株式会社環境管理センター) 石井 善昭

～休 憩～

16：00 「その道世界No. 1を目指しているフロンティア・ラボ“創業から現在まで：
確固たる学問に立脚した独創的な製品開発とその裏話”」
(フロンティア・ラボ株式会社) 渡辺 忠一

16：45 特別講演
「規制反応場と化学センシング」
(日本分析化学会会長・東北大学名誉教授) 寺前 紀夫

5. 参加費： 無 料

6. 懇親会： 17時45分より市内で行いますので、参加ご希望の方は御連絡ください。

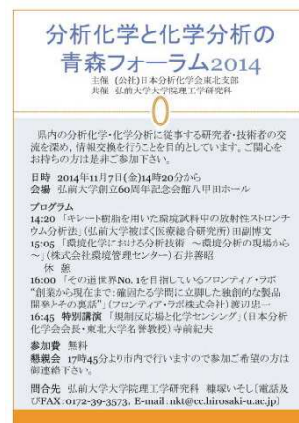
申込み・問い合わせ先： 弘前大学大学院理工学研究科 糠塚 いそし
TEL・FAX：0172-39-3573
E-mail：nkt@cc.hirosaki-u.ac.jp

**高度実践被ばく医療検討委員会 放射線リスクコミュニケーション教育部門
第5回講演会「リスクコミュニケーションのワークショップ」開催のお知らせ（再掲）**

リスクコミュニケーションとは社会を取り巻く多様なリスクに関する様々な情報を行政、専門家、市民間で共有し、意思疎通を図ることです。福島原発事故は我々に放射線リスクコミュニケーションの重要性を再認識させました。

今回のワークショップでは、講師の土屋智子氏の主導により、小グループによる「放射線、その他のリスクコミュニケーションのシミュレーション体験（ロールプレイ、発表、討論）」により、リスクコミュニケーションの理解やその教育を考えるひとつの機会とします。

1. 日 時： 2014年11月8日（土）9：00～15：30
2. 場 所： 弘前大学大学院保健学研究科 第21講義室（予定）
(弘前市本町66番地1)



3. 対 象： 弘前大学教職員、弘前市内行政機関等職員
(行政機関職員、保健所・保健センター職員、
消防署職員、幼稚園・小学校・中学校・高等学校
教員) 等

4. 講 師： 土屋 智子 氏
(特定非営利活動法人H S E リスク・シーキューブ
理事・事務局長)
(東京大学政策ビジョン研究センター 特任研究員)

専門分野： リスクコミュニケーション

5. 申 込： 事前に下記の問い合わせ先にお申し込み願います。

6. 募集人員： 30人以内

7. 参加費： 無 料

8. 主 催： 弘前大学大学院保健学研究科 高度実践被ばく医療人材育成プロジェクト
放射線リスクコミュニケーション教育部門



申込み・問い合わせ先： 弘前大学大学院保健学研究科総務グループ 桑田
TEL：0172-39-5518
FAX：0172-39-5912
E-mail：kuwata@cc.hirosaki-u.ac.jp

知財塾開催のお知らせ(1) (再掲)

この度、弘前大学知的財産本部では、山口大学 大学研究推進機構知的財産センター 副センター長 木村 友久氏を講師にお招きし、知的財産法をベースに知財戦略を加えた「創出から活用までを見通した知的財産戦略」について講演をしていただきます。

知的財産(知財)には特許や商標、著作権など様々な種類がありますが、知財のことはどなたも覚えておいて損はないと思います。是非奮ってご参加ください。

1. 日 時： 2014年11月10日(月) 18:00～20:00
2. 場 所： 弘前大学創立60周年記念会館コラボ弘大 2階 セミナー室
(弘前市文京町3番地)
3. 対 象： どなたでもOK!!
4. 演 題： 「創出から活用までを見通した知的財産戦略」
5. 講 師： 山口大学 大学研究推進機構知的財産センター
副センター長 木村 友久 氏
6. 参加料： 無 料

※参加を希望される方は、氏名、所属・役職、連絡先を記載し、11月5日(水)までに、下記連絡先までお申し込みください。

申込み・問い合わせ先: 弘前大学知的財産本部
TEL: 0172-39-3178
FAX: 0172-36-2105
E-mail: chizai@cc.hirosaki-u.ac.jp

弘前大学金木農場「農場祭」開催のお知らせ(再掲)

弘前大学農学生命科学部附属生物共生教育研究センターでは、地域の皆様との結びつきを深めるために「農場祭」を開催します。どうぞお気軽にご来場ください。

1. 日時: 2014年11月15日(土) 9:30~15:00

2. 会場: 弘前大学金木農場
(五所川原市金木町芦野84-133)

3. 催し物:

- 農場生産物販売コーナー(①9:30~ ②13:00~)
※午前・午後に分けて販売します。

金木農場と藤崎農場で丹精込めて作ったものです。
是非、お買い求めください。

金木農場産・・・新米(つがるロマン、てんたかく、タヤけもち)、
弘大アップルビーフ
藤崎農場産・・・りんご、ねぎ等
(何れも数に限りがございますので、売り切れの場合はご了承ください)

- イベント(終日)

・販売(9:30~ 順次)

弘大生協コーナー・・・金木農場産酒米を使用した日本酒「弘前大学」など
お食事コーナー、弘大グッズ等

・その他出店(9:30~ 順次)
金木町斜陽の詩・稲垣町「おかずや」(お惣菜など)

・展示(終日)

藤崎農場・金木農場の教職員による研究・展示
(牧草、アップルビーフ、紅の夢、無農薬リンゴなど)

・米5品目あじくらべ(①11:00~ ②13:00~)

5種類のお米を試食してアンケートにお答えいただくと・・・
お気に入りのお米1種類をプレゼント

・体験(終日)
ヒツジとふれあいコーナー



問い合わせ先： 弘前大学農学生命科学部
 附属生物共生教育研究センター 金木農場
 TEL：0173-53-2029
 FAX：0173-52-5137
 E-mail：jm532029@cc.hirosaki-u.ac.jp

**弘前大学地域未来創生センター・弘前市立中央公民館
 弘前大学との地域づくり連携事業「地域未来創生塾@中央公民館」開催のお知らせ（再掲）**

「人口減少を克服する持続可能な地域づくり」をテーマに全10回の講座を開催いたします。具体的には、人口減少にともなう様々な地域課題の対策や地域文化資源の有効利用策などを模索するために、地域のみならず、弘前大学人文学部の教員及び学生が、ワークショップ形式で学びを深めます。関心あるテーマのみのご参加も大歓迎です。

1. 日 程： 2014年9月10日（水）～2015年1月28日（水）の期間の
 第2および第4水曜日（全10回）

2. 時 間： 18：30～20：00

3. 場 所： 弘前文化センター 第3会議室
 （弘前市下白銀町19-4）

4. 対 象： 弘前市および近隣にお住まいの高校生・一般の方

5. 参加料： 基本的には無料

6. 申込み： 不要・当日の参加が可能です。

7. 主 催： 弘前大学地域未来創生センター

共 催： 弘前市教育委員会（中央公民館）

8. その他： 継続してご参加の方には認定証の授与をいたします。

9. 年間計画：



	日程	タイトル	講師・内容
第5回	2014年11月12日（水）	都市の形 —弘前と古代ローマ—	講師：人文学部教授 宮坂朋 （専門 西洋考古学） ①弘前を歩く ②古代地中海の都市を歩く ③権威とプライドの古代都市ローマ
第6回	2014年11月26日（水）	地域の未来を共有するための工具箱	講師：人文学部准教授 平井太郎 （専門 社会学） 地域の未来を住民市民・行政・大学などが一体となって描き直し分かつためのさまざまな手法——「地元学」や「集落点検」、「地域づくり曲線」などを学び、みなさんそれぞれの地域に持ち帰っていただきます。
第7回	2014年12月10日（水）	東北方言の助詞「さ」	講師：人文学部講師 川瀬卓

		の謎—方言に見ることばの変化—	(専門 日本語学) 共通語で「東京に行く」というところを、青森県を始めとする東北地域では「東京さ行く」のように言います。助詞「さ」の成立に注目して、ことばの変化について考えます。
第 8 回	2014年12月24日(水)	くずし字で遊ぼう！くずし字で郷土の文学を楽しもう！	講師：人文学部教授 渡辺麻里子 (専門 日本古典文学) ・日本古典文学ゼミナールゼミ生 ん！？「ひらがな」なのに読めない！？ 筆で書かれた不可思議な「くずし字」に触れ、古典文学の世界を一緒に楽しみましょう。郷土にかかわる古典文学もご紹介します。
第 9 回	2015年1月14日(水)	地域をゲームで考える	講師：人文学部講師 日比野愛子 (専門 社会心理学) ほか 社会行動コース教員 対話型のゲームを通じて、地域の生活習慣病対策について考えます。
第10回	2015年1月28日(水)	「地域文化を音楽や芸能から考える」	講師：国際教育センター准教授 諏訪淳一郎 (専門 文化人類学) 音楽や芸能からみると、地域同士は連続し、互いに影響し合っています。そこで世界、ユーラシア、東アジア、日本、東北、津軽という同心円を設定し、世界各地の資料を訪ねつつ地域文化の特性について考えていきます。

問い合わせ先： 弘前大学地域未来創生センター

TEL：0172-39-3198

(平日9:00～15:00)

E-mail：irrc@cc.hirosaki-u.ac.jp

URL：http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/irrc/

特別展「東北の弥生化—縄文時代が変わるとき—」開催のお知らせ(再掲)

弘前大学人文学部北日本考古学研究センターでは、特別展「東北の弥生化—縄文時代が変わるとき—」を開催します。2011年度から開始した「冷温帯地域の遺跡資源の保存活用促進プロジェクト」活動の一環として昨年度行った秋田県八郎潟町下台遺跡の発掘調査により、縄文晩期末の良好な資料群を得られたのを契機に、晩期縄文人はどのように農耕を受容していったのか、その調査成果を速報します。また、北日本における水稻農耕文化への過程をこの地域の考古資料を用いて展示します。本企画展は、これまで非公開だった貴重な資料を含め、現在までに得ている成果を一般に公開するものです。多数のご来場をお待ちしております。

1. 日 時： 2014年10月18日(土)～11月24日(月)の

10:00～16:00

※但し、11月22日(土)・23日(日)のみ

入学試験日のため休館

2. 場 所： 弘前大学人文学部北日本考古学研究センター展示室
(総合教育棟2階)
3. 入場料： 無 料
4. 解説者： 関根 達人
(弘前大学人文学部教授、
北日本考古学研究センター長)

上條 信彦
(弘前大学人文学部准教授)

問い合わせ先： 弘前大学人文学部北日本考古学研究センター
弘前大学人文学部 准教授 上條 信彦
TEL：0172-39-3221



学 内 掲 示 板

学長オフィスアワー日程変更のお知らせ

学長と本学学生・教職員が直接対話する機会を設けるため、学長オフィスアワーを毎月第1金曜日及び第3木曜日に実施しておりますが、下記のとおり日程変更がございますのでお知らせいたします。

日程変更
12月5日(金)→12月4日(木)

問い合わせ先： 弘前大学総務部総務課(秘書室) 内線3004
URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/president/officehour.html>

弘前大学出版会から新刊のご案内

弘前大学学長秘書室編「大学と地域と人々と ―弘前大学第十二代学長 遠藤正彦講演集―」(A5判、308頁、定価4,104円：税込)を出版しました。

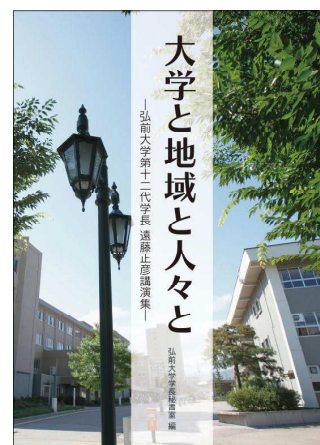
～紹介文～

本書は、第12代弘前大学長遠藤正彦先生が在任した10年間に、学内外で行われた様々な催しで講演された数多くの原稿の中から、歴代の秘書達が「大学」「地域」「人々」の3つのテーマに絞り、取り纏めたものである。

この10年間には、国立大学の法人化という歴史的な大改革が行われ、他の国立大学同様、弘前大学にとってもまさに「激動期」であった。

法人化により、大学には自主・自立が求められることとなった。これにより、競争と評価の時代に突入することとなるが、そのような中で、弘前大学のリーダーとして、日々奮闘されていた様子をうかがい知ることができる貴重な記録となっている。この中には、自身の幼少期・少年期の実経験や科学者としての視点から講演されているものもあり、バラエティに富んだ内容となっていることも興味深い。

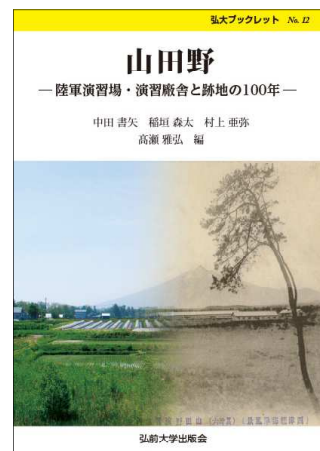
遠藤先生が、学内外、老若男女を問わず送り続けたメッセージを、本書から感じ取っていただければ幸いである。



教育学部准教授 高瀬雅弘 編著「弘大ブックレットNo.12 山田野—陸軍演習場・演習廠舎と跡地の100年—」(A5判、126頁、定価972円：税込)を出版しました。

～紹介文～

岩木山のふもと、青森県鮭ヶ沢町山田野。毎年春には一面菜の花のじゅうたんで黄色く染め抜かれる大地は、かつては数多くの兵士たちが駆け回り、ときには著名な人物が訪れ、その後は開拓者たちが開墾に励んだ場所であった。この地に思いを寄せる4人の著者は、歴史学・考古学・社会学の視点から、歩いて・見て・触れて・聴いて、フィールドワークを行った。本書は、陸軍山田野演習場と演習廠舎のあらまし、現地に残る遺構や遺物から探る軍隊生活の様子、戦後間もない時期に開拓農民として入植した人々の労苦、今もなお建ち続けるかつての兵舎の変遷と人々の思い、をまとめた4つの章から構成されている。「モノ」と「人」を通して、約1世紀にわたる、地域に刻まれた人々の記憶を集め、「記録保存」に取り組んでいる。ともすれば埋もれ、忘れ去られてしまいそうな、地上にある近代の遺跡。本書は、この場所が宿している数々の生の軌跡に関心をもつ人々への「いざない」である。



弘前大学名誉教授 村田俊一 著「T・S・エリオットの思索の断面—F・H・ブラッドリーとニコラウス・クザヌス—」(四六判、292頁、定価4,536円：税込)を出版しました。

～紹介文～

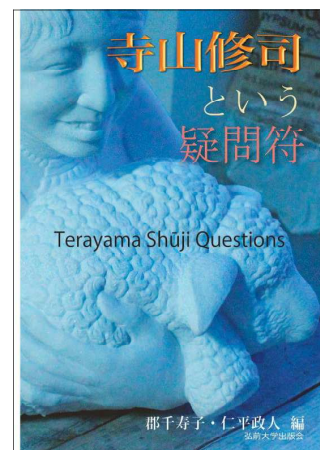
本書は1948年ノーベル文学賞を受賞したT・S・エリオットの文学と哲学の関係を論じたものである。彼はハーヴァード大学院時代、19世紀後半の英国の哲学者F・H・ブラッドリーについて博士論文を書いている。本書の著者は既にブラッドリーの「懐疑的精神」とエリオットの「中道精神」(ヴィア・メディア)を関係づけた『T・S・エリオットのヴィア・メディア—改宗の詩学—』(弘前大学出版会、2005)を出版したことがある。本書ではこの著書を基軸にし、エリオットの「思索の断面」に流れている「全体」の概念を博士論文に立ち帰って、彼の文学、そして「感性の統合」が見られるデカルト以前の中世に見出だし、さらには「対立物の一致」で有名な15世紀のドイツの神秘主義者ニコラウス・クザヌスまで遡った。エリオットのこの「思索の断面」を辿ることによって、彼が如何にしてダンテ的ヴィジョンの「薔薇園」へ帰還したかという彼の旅路の一端が垣間見られるであろう。



教育学部 国語教育講座 郡 千寿子・仁平政人 編著「寺山修司という疑問符」(四六判、286頁、定価1,944円：税込)を出版しました。

～紹介文～

青森県出身の作家・寺山修司は、四十七年という短い生涯の中で、詩歌・童話・小説・エッセイ・評論といった文筆活動にとどまらず、演劇、映画、作詞など、多様な領域を横断して先鋭的な活動を行ない続けた。彼の残した作品や言葉は、没後三十年を経た今日にあっても、多くの人を魅了し続けている。ただしその一方で、現在では寺山の営為に関わる文脈の多くは忘却され、その活動が定型的なイメージで捉えられやすくなっていることも否定しがたい。本書は、弘前大学教育学部に属する八名の研究者が、寺山修司について、それぞれの専門の立場(文学、言語学、国語教育、社会学、美術…)から新たなアプローチを試みた論集である。様々な視点・テーマにもとづく本書の多角的な追求は、寺山



修司という「疑問符」の力を今日において甦らせる上で、確かな意義を有すると考えられる。

ご興味をお持ちの方は大学生協または市内の書店でお買い求め下さい。

国立大学協会情報誌「国立大学」について

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧いただけます。

<http://www.janu.jp/report/infomation.html>

第31号・第28号・第25号・第23号・第22号・第18号において、本学記事が掲載されていますので、ご覧ください。

編集担当から） 講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記のところまでご提供ください。お待ちしております。

◎担当：総務部広報・国際課広報・国際グループ

E-mail: jm3012@cc.hirosaki-u.ac.jp FAX:39-3498、内線：3029